

IUHW

The gazette of International University of Health and Welfare



平成15年
1月21日 発行

特集

新春特別対談
新年のご挨拶
イングリッシュ
スピーチコンテスト

これからの熱海病院にご期待下さい



平成17年の新病棟完成予想図



発行：
学校法人国際医療福祉大学
大田原市北金丸 2600-1
編集：
広報委員会
TEL 0287-24-3000
内線 8116
ホームページアドレス
<http://www.iuhw.ac.jp/>
E-mail: media@iuhw.ac.jp

新春特別対談

国際医療福祉大学 理事長 高木邦格
副学長 開原成允

開原：皆様、新年明けましておめでとうございます。

さて、昨年は国際医療福祉大学に関連する二つの病院が開院しまして、本学にとつて大きな発展の年であったと思います。これらの病院は、今後本学の学生の教育のためにも、また、教員の研究のためにも大いに貢献すると思いますので、この二つの病院、つまり熱海病院と国際医療福祉病院について理事長の立場からご紹介をさせていただきますか。

高木：国際医療福祉大学附属熱海病院（静岡県熱海市）は、もともと国立熱海病院として運営され、開院以来およそ九十年の歴史を持つ病院でした。しかし、現在の行政改革のなかで民間に移譲され、昨年から本学が引き継ぎその歴史を継承することになったわけですが、JR熱海駅から近く、相模湾に面しており、さらに、病院の敷地内には温泉の源泉がございまして、当初は本学が力を注いでいるリハビリテーション専門病院としての機能をイメージしておりました。

しかし、国立病院時代の歴史を遡ってみますと東伊豆地域における急性期の救急医療にも実績

を残してこられた伝統がございましたので、今後も急性期と慢性期を併せ持ったこの地域の基幹病院として、その役割を果たしてまいりながら検討することに致しました。

お陰様で医師やコメディカル、スタッフは経験豊富で優秀な人材に集まっていたいただきました。また、地元熱海市の市民の皆様からもご支援を頂いています。現在、熱海病院は既存の古い建物を改修しながら診療を行っています。昨年度（十一月二十二日）継承のパーティーを行った際、新病院の起工式も行いました。新病院完成後は、名実ともに地域の皆様の基幹病院として貢献できますよう、職員一同力を合わせて努力しているところでございます。

開原：ところで、新しい熱海病院はどのような建物になるのでしょうか。

高木：平成十七年七月に地上八階地下二階、総病床数二六五床の新病院が完成する予定です。温泉を活かした、海が一望できるような立派な建物になる予定です。また、東海地方ということでは、

建物の耐震構造に特徴をもたせているほか、緊急時には災害センターとしての機能を持つようになっています。

開原：本学では、昨年もう一つ病院が開院式を迎えました。栃木県の西那須野町に国際医療福祉病院がグランド・オープンをしたわけですが、そちらもご紹介いただけますか。

高木：只今のお話しにもございましたとおり、国際医療福祉病院は西那須野町にございまして、大学から車で約二十分程の場所に位置しています。西那須野町は町と申ししましても四万五千人近い人口を擁しておりますが、病院がございませんでした。そこで町の唯一の病院として、また、大学の臨床医学研究センターとして、その役割を果たすべく教員の派遣を充実に行いながら学生教育にもあたつてまいりました。したがって、本学の学生の実習教育では中心的役割を担っている病院です。平成十年七月に開院し、昨年の二月に隣接地へ移転しました。その後、既存設備の改修も終了したため、お陰様で昨年の八月にグランド・オープンを迎えることができました。

開原：私も国際医療福祉病院へは行く機会が多々ありますが、廊下が広くて、建築的にみても非常に良い病院ですね。

高木：廊下も広いですし、病室もベッドあたりの面積を老人保健施設

開原：また、病院を入ったところにあるリハビリテーション・ルームは非常に広しい、明るくて外からも見えるというのが良いですね。

ら、将来的には一部の講義や研究機能を併せ持ち得る場所として考えています。

開原：実は医療経営管理学科の学生は、既に国際医療福祉病院で講義を行つています。病院内には広い教室が用意されていて、医師の先生方もわざわざ大学まで来ていただく必要がなく、今お話ししたように西那須野ブロックが既に第二キャンパスとしての役割を果たしていることを実感しました。また、昨年二月の病院の新築移転の際も、学生の一部がお手伝いさせていたのですが、病院が新しく開くというのはたびたびあることではないので、このような機会を学生が経験できたというのは教育的にも本当に良かったと思つています。名実ともに国際医療福祉病院は教育機能を発揮してきたことを実感いたしました。が、今度は、熱海病院でも教育・研究機能を付与していかねければならないと思うのですが、

高木：病院単体の特徴としては、リハビリテーションに非常に力を入れております。しかし、これからは本学の理念である『医療と福祉の融合』という面から見たときに『医療福祉複合体』という言葉で大学教育の実践に移していきたいと考えています。国際医療福祉病院のある西那須野ブロックには、隣接して『介護老人保健施設マロニエ苑』、『特別養護老人ホーム 栃の実荘』がございまして、医療と福祉のスタッフが同じ敷地のなかで協力して仕事をしているわけです。このような環境が学生の教育の場面で重要になってくると思われるのです。つまり、急性期の単体としての病院だけではなく、福祉施設も備えた、トータルな視点から西那須野ブロックをとらえることによって、西那須野ブロック全体が学生教育の場となるわけです。いわば国際医療福祉大学の第二キャンパスのような位置付けとして考えることができると思うのです。ですが、



高木邦格 理事長

高木：もちろん熱海病院でも実習ができるように、新病院の新築の際には学生の宿泊施設を含めた受入れ体制を整えたいという思いがございまして。また、学生の実習だけではなく、教員や医療スタッフの研究等の機能につきましても熱海という地理的特性を生かしたテーマで行っていきたいと考えています。具体的には、神経難病や在宅ケアなどの分野があげられますが、どのようなテーマが良いのか現在検討の段階です。



開原成允 副学長

開原：この他にも遠隔授業が受けられるような体制になっていくと伺っています。

高木：はい。本学では既にCS放送（スカイパーフェクトTV）で『医療福祉チャンネル774』が放送され、学生や教職員はもちろんですが、一般の方も聴講が可能です。この様な衛星設備や、また、テレビ会議システムなどを利用した双方向的な教育で、大学院教育のようなものまで将来は行っていきたいと考えております。

開原：最近では、大学のキャンパスが離れていても通信設備等を上手に使用すれば大学と一体化した教育が行えるので、そういう意味でも素晴らしい施設が出来上がりつつあるわけですね。ところで、本学には、国際医療福祉病院や熱海病院の他にも教育機能を備えた医療施設として学内に言語聴覚センターがあります。東京には山王病院がございまして、これらの施設についてもご紹介いただけますか。

設なみに致しまして、通常病院で必要とされる面積よりも広くとっております。また、新病院には『個室的多床室』という考えを取り入れまして、四床室でも個室のように各枕もとに窓をつけた。この様な病室のデザインによって、自然の光がどのベッドからでも取り込めるつくりになっています。その他にもベッドは木製のものを採用しております。家庭的な雰囲気づくりに努めました。

お陰様で外来の患者様も移動当初の三〇〇、四〇〇名から、最近では多い時に八〇〇名を越える方々に受診していただいております。手術室も五室に増加しまして、手術件数も着実に増えております。さらに、国際医療福祉病院では、病気になる前の予防医学にも力を入れております。最上階にプール、アスレチックジムなどを整備しまして、健康増進を目的とした『那須メデイカルクラブ』を新設致しました。また、人間ドックも同じフロアで行つておりまして、一般の外来患者様とは別にCTスキャンまではできるような『予防医学センター』も開設しております。この他にも、国内では設置例が非常に稀な定位放射線治療器を導入いたしました。既にがんなどの治療にあつておりますし、既存の人工透析室も移転後は『腎センター』として、さらに設備を充実させました。今後は地域の基幹病院として、その役割を果たせるものと自負しております。

高木：言語聴覚センターは、言語聴覚士が国家資格となる前に開設しました。ご存知のように本学には言語聴覚障害学科がございまして、開学当初は実習施設の確保が困難でした。他の学科よりも実習が非常に難しかったわけですが、そこで、学内に言語聴覚センターを開設したのですが、お陰様で現在では、設備的にはアジアで有数といつていただけような施設をつくることができました。もちろん、現在でも実習施設として多くの学生が学んでおりますし、研究機関としても活発な研究活動が行われています。

一方の山王病院は、東京の赤坂にございまして、もともとは産婦人科が広く世間に知られた病院でした。そのため、大学の実習施設としては主に看護学科の学生が学んでいます。本学グループ内の医療施設ということで申し上げますと、このように各実習施設は、それぞれの特色を持った、タイプの異なる医療施設となつております。このように特色の違う医療施設で学生が実習を行うことは、学生の教育レベルの向上に寄与すると思ひますし、実習環境を整える上で重要なことであるとと考えています。

さらに、教育面で申し上げますと学内にはボランティアセンターがございまして、多数の学生ボランティアの方々が協力して福祉施設などでボランティアをして下さつています。この取り組みも学生の学習意欲向上につながつていようです。今後



▼出版物のご案内▼ 『よみがえれ、日本の医療』

本学 高木邦格理事長と聖路加国際病院の日野原重明理事長の対談を収めた本が、1月10日、中央公論新社より出版されました。

現在の日本の医療、福祉、教育をテーマに、大変興味深い内容となっています。

●『よみがえれ、日本の医療』（中央公論新社刊）

本体価格1200円



教育を充実していくための青写真が出来上がり、既に具体的な行動に移っています。現在、青山一丁目駅前で大学院教育を行っており、春からは乃木坂に新しいオフィスを構え、さらに教育機能を充実させていくことになっています。最後に熱海病院ですが、今後、も建築を引き続き進めて行き、病院としてはもちろんですが、大学の附属研究機関として、さらに学生の実習施設として充実した機能を持たせていきたいと考えています。

開原：本学の学生は、豊富な実習施設に恵まれて非常に幸福だと思います。

それでは、最後に大学の将来像についてお聞かせください。昨年は、大いなる発展の年であったわけですが、今年もまたさらなる発展の年となりそうですね。話を伺っております。

高木：現在一番大きな検討課題としてあげられているのが薬学部の新設です。本学はコメディカル、福祉、そして医療事務の分野など、これまで努力してまいりま

新年のご挨拶

国際医療福祉大学 学長 谷修一



学生並びに教職員の皆様、新年おめでとうございます。保護者や卒業生の皆さんにおかれましても、よい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年一年、皆様のご指導、ご協力をいただき、ここに新しい年を迎えることができました。ここに改めて御礼申し上げます。学生の皆さんは学期末試験の季節です。四年生にとっては卒業を控え、就職のための準備や、そして最後の関門である国家試験の受験を控えて、人生の中の一つの節目を迎える時期でもあります。寒い時ですから、健康には十分気を付けていただきたいです。

昨年は、関連施設である国際医療福祉病棟の改築整備が行われ、また静岡県熱海市の国立熱海病院を大学附属病院として取得し、それぞれ順調に動き出しております。更に今年四月からは、学内に痴呆性老人を対象にしたグループホームが新設される予定です。これらの関連附属施設によって、学生の臨床実習が更に充実したものになるとともに、福祉や医療

の現場での研究や経験を踏まえた教育が行えることも大きな意味のあることだと考えております。

現在大学では、十五年度からのカリキュラムの改正に取り組んでおります。これは平成十一年度に行った改正に続くもので、学科間の専門基礎科目の共通化、進級条件の統一、シラバスの充実、外国語教育の見直し、留学生に対する日本語教育の再編成、チーム医療実習の新設などの課題について改正を行うことになっております。

また平成十二年に行った大学の自己点検評価に引き続き二回目の自己評価を実施しており、三月には報告書がまとまる予定です。今回の自己評価の主眼は学生生活の実態把握と評価とし、学生が大学での教育をはじめとする学校生活に満足しているかどうか、彼らが入学前に期待していたことが達成されているかどうか、また学生が地域の中で受入れられているかどうかなどを調査し、大学での教育の更なる充実に反映させていきたいと考えています。

我が大学も平成七年に開学以来、多くの方々のご支援によって、順調に発展してまいりました。私はこの際、人間中心の、社会に開かれた大学として「共に生きる社会」を目指すという建学の精神を踏まえつつ、我が大学が、学生のための大学であることを改めて肝に銘じ、教職員の皆様とともに教育や教育の支援にあたりたいと考えておりますので、本年もよろしくお願い申し上げます。

国際医療福祉大学大学院 大学院長 初山泰弘



あけましておめでとうございます。春の訪れとともに、大学院は開設されてから五年目を迎えます。院生は修士・博士課程合わせて二百名を超えました。その内十名ほどは、韓国、ケニア、中国、フィリピン、ベトナムなどからの留学生で、将来、各国の医療福祉の分野で中核的な役割を果たす専門職となるために、日々勉学に励んでおります。

大田原本校と東京、福岡・柳川のサテライトキャンパス間で実施してきたテレビ会議形式の遠隔授業は、指導教官と院生との定期的な直接対面授業も加わり、円滑に進められております。遠隔地で勤務を続けながら、より新しい、高度の知識と技術を身につけたいという人々の要望に応え、その機会を提供する大学院として、新しい一つの方向性を示すものと考えております。

毎年、院生の研究成果を数回に分けて発表しております。昨年十二月に博士後期課程の一・二年生三十数名の発表会を行いました。その発表内容は看護から、理学療法、作業療法、言語・聴覚・嚥下障害にわたる幅広い分野にわたるもので、今後、これらの研究の実りある成果を期待しております。大学の三棟の三階に大学院生室がありますが、最近、その三階の灯が真夜中まで点いていること



実習施設からのご挨拶

今回は、本学グループ内の病院長、センター長から新年のご挨拶を頂きました。

新年のご挨拶



国際医療福祉大学附属
熱海病院
病院長 神崎 仁

新年明けましておめでとうございます。昨年七月に開院してから六ヶ月経ちました。お陰様で、病院のすべりだした順調です。旧国立病院は老朽化しており、理事長の決断で外来、病棟の改修、ベッドの更新もおこない、最新のMRI、CTなども購入いたしました。また大学附属病院としての組織も軌道にのったところ。スタッフは四月以降さらに充実される予定です。医師会との地域連携も順調で医師会の先生方に加わっていただく症例検討会も既に開催致しました。

看護師、事務員の方々も七月に委譲されてから参加された方が多いので、絶えず緊張感を持って仕事をしております。これがよい結果を生むことになることを期待しております。

解体作業もほぼ終わり一月には新病院の基礎工事も始まることとなります。

新病院開院までの間にソフトの基礎作りを行い、い病院としての知名度をあげ遠方からも受診していただけるようにしたいと願っております。



国際医療福祉病院からのご挨拶



国際医療福祉病院
病院長 佐藤郁夫

皆様明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

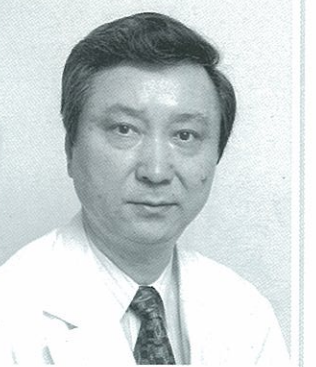
当院は昨年二月に新病院を開院し、七月には既存施設の改修を終了して、八月に竣工記念祝賀会を盛大に執り行うことが出来ました。地域における先端的な基幹病院として二十五の診療科目を開院し、最先端の放射線治療装置を導入するなど、最新の医療機器を整備して診療機能を一層充実させました。

一四六床から成る一般病床はどのベッドにも窓があり、患者様のアメニティーに配慮した快適な療養空間を追求しています。

平成十四年度、当院には大学の看護、理学、作業言語、放射線、経営、福祉の七学科から延べ二千人余の実習生を受け入れていました。既存の狭い施設での実習では何かと迷惑をお掛けしたことも多いと思いますが、新病院には広がりハビリスペースが用意され、ハード面の課題はかなり解決されました。新病院での実習をより多くしてもらうためには、これからさらに受け入れ体制を整備していく必要があります。大学と病院のスタッフ間でのコミュニケーションをよくし、人的交流を盛んにすることにより、大学との連携を一層強化することが今後の課題と認識しています。

当大学はコメディカルの専門八領域の専門職を養成するという、他大学には例のない特色をもっています。医療はチーム医療の時代になりつつあり、患者さんと家族の生活を支えるために、多様な専門職がチームを作り、それぞれの専門性を生かして関与するようになってきています。学生諸君には在学中から他の専門職種の業務内容もよく理解し、地域で各職種の専門家といかに有機的な連携をとるかについて理解を深めて欲しいと期待しています。

医療の質とアメニティーの両立をめざして



山王病院
病院長 井上正人

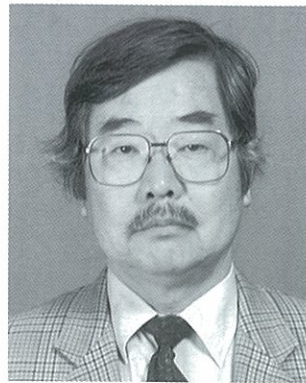
明けましておめでとうございます。

山王病院は、アメニティーの充実と医療の質の一層の向上を企図して現在の新病院に移転し、今年で三年目を迎えました。新病院は病床数が同じまま延床面積を四倍とし、病室の九割をバス・トイレ付きのゆとりある個室としました。また五階まで吹き抜けの受付ホール中央にはグランドピアノを配し、ホテルのような快適な環境を整えました。

一方、医療の面では、一・五テスラMRI、五・五MヘリカルCTをはじめ最新鋭機器の導入、予防医学センター、呼吸器センター、ポイスセンターの設立、総勢八十一名の医師による診療、リプロダクションセンターの日曜・祝祭日の診療など、患者様本位の充実した体制で取り組んでいます。

更に山王病院は大学の関連臨床実習施設であり、卒業生も多数活躍しています。当院は各界の著名人の御利用が多いことでも知られていますが、それだけに医療の質はもちろん、手厚い看護・療養環境の提供が求められます。実習では、プロの医療職としての自覚を身につけるだけでなく、患者様に心をこめて接することがいかに大切であるか、患者様本位とはどういうことか是非学び取ってほしいと思います。

山王病院は、医療の質と快適さを兼ね備えた二十一世紀型の病院として今後もがんばって参りますので、皆様の御協力をお願いいたします。



言語聴覚センター
センター長 新美成二

本年もどうぞよろしく

明けましておめでとうございます。毎年のことですが年が変わると、不思議なことに見ている景色や雰囲気急に新鮮に感じます。その新鮮さを、保ちつつこの一年をすごしたいと考えています。言語聴覚センターは障害を持つ方々への医療を中心としたサービス機関であると同時に、大学の教育機関でもあるという性格をもっています。したがって、二年生は基礎実習一週間、三年生は評価実習四週間、四年生は総合実習四週間を本センターで過ごしています。この間に言語聴覚士としての知識だけでなく、職業人としての態度や常識を身につけてもらうことを目標に教育しております。我々から見ると異星人のような茶髪でジーンズの新人生が実習を始めるというの間に医療に携わる仲間のようになっていくのが頼もしく感じられます。教育施設で働くものの喜びの一つでしょう。ここでの経験を元にして障害の痛みがわかる言語聴覚士になってもらいたいと思っています。

このセンターは、言語聴覚障害を取りまく多くの業種に携わっている方々へのサービスも目標の一つにしています。具体的には、春、秋の一七セミナーと年六回ほどのミニセミナーを行っています。毎回多くの方が参加され、少しは地域に貢献できていると自負しています。少しは地標にがんばりたいと思います。

図書館だより

いよいよ国家試験の時期となりました。図書館内では、国家試験に向けて四年生が毎日遅くまで勉強しています。国家試験対策として下記の期間中、土日も含め毎日9時～23時開館となります。(但し、一般の方の利用には制限があります。)

周囲の利用者に迷惑がからないよう、静粛に！

1月6日(月)～3月4日(火)
3月5日(水)～3月20日(木)

◆同窓会「マロニエ会」事務局◆

〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600-1
国際医療福祉大学 学生課内
TEL 0287-24-3003 FAX 0287-24-3140
e-mail office.maronie@iuhw.ac.jp
http://www.maronie.iuhw.ac.jp/

教員紹介

①所属・職位②出身校③専門分野④直前の勤め先
⑤主要著書または論文⑥本校における担当科目⑦趣味

陳 霞芬 (チン カフン)



- ①医療経営管理学科 講師
- ②中国・上海衛生職工医学院 (東北大学医学部医療管理学)
- ③医療管理学、国際保健学
- ④中国衛生部・医政司
- ⑤チーム医療に関する研究 (医博論文)
日本「癩予防法」廃除の歴史 (訳書、原著者：大谷藤郎)
- ⑥国際医療協力論、医療福祉国際協力研究
- ⑦工芸品観賞

同窓会「マロニエ会」入会案内について

同窓会「マロニエ会」は、会員相互の親睦を図ると共に医療福祉の向上に努め、母校の発展に寄与する事業を行っていくことを目指しています。本会は卒業してからではなく、在学中から準会員として入会していただき、マロニエ会主催行事、各学科会活動、支部会活動等、様々な事業活動に参加できるようになっています。

次年度の入会案内は、平成15年2～3月頃にご送付させていただきます。卒業生、在学生の皆様には本会の趣旨をご理解いただき、入会手続きをお進め下さいますようお願い致します。

学生相談室だより

学生相談室はL棟1階学生課窓口の右手奥にあります。気軽に相談してみましょう。いつ、何を相談したらよいのか考えてみましたが、結局のところいつでも何でも良いのではないかと思います。自分を客観的に見詰め、他人を冷静に見詰めて、いつもの状態と少し違うなと感じたときに相談してはどうでしょうか。身体的異常、行動の乱れ、精神的不安定を感じたときが相談のときです。最近、身体が何となく不調だ、生活リズムがおかしい、いらいらする、大学でみんなと一緒にいるのに孤独を感じる、アパートで一人になると怖い、友達と会話したくない、何もしたくない、授業に出て分らない、自分は役に立たない人間だなどなど。そのようなときは大空を見上げよう。夜なら星を眺めよう。そして大きく深呼吸をしてから「よし、あした相談室へ行ってみよう。」と心を決めて相談室に電話をしてみてください。相談室はあ

なたからの電話を待っています。でも、これだと全学生から電話がきそうで心配です。(野原功全)

学生相談室は、下記のように開室しております。
ぜひ、ご利用ください。

開室日時

月・水・金 曜日

10:00～13:00

14:00～17:00

スタッフ

小林 真理子 (月・金 担当)

木下 愛子 (月・水・金 担当)

受付・予約

L棟1階、学生相談室まで

TEL 0287-24-3099 (直通)

学科・センターだより

大学院

博士後期課程の論文審査手順が

決まりました

来年度はいよいよ、博士後期課程の第一期生の巣立ちの年を迎えます。これにそなえてこのほど、大学院研究科会議において博士論文の審査の手順が審議され、決定しました。D三生は通常、来年度九月までに副論文を学術誌に投稿して掲載の許可を得るとともに、本命である主論文を完成しなくてはなりません。そして九月に要旨を提出、十月には主・副両論文（副論文は写し）を提出します。このときから翌年の一月までの間に五名の審査委員による論文審査を受け、場合によっては修正後に再審査を受けるということをくり返し、審査と面接試験に合格したあかつきには二月の博論発表会に臨むこととなります。最終的な合否判定は研究科会議（二月中）で行われることになっていきます。授与される学位の名称は「博士（保健医療学）」です。たくさんさんの優秀な博士の誕生を期待したいと思います。（鎌倉矩子）

看護学科

卒業生（留学生）

日本の臨床現場で活躍

先日、雑誌「看護」から「外国人看護職が語る、心に響く日本の看護」という特集に執筆者を推薦してほしいとの依頼がありました。本学には、言葉のハンディを克服し

国家試験に見事合格され、日本の看護師・保健師免許を取得した卒業生（留学生）の方が四人います。一期生の王さんと劉さん（中国出身）、二期生の張さん（台湾出身）、四期生の堤さん（ブラジル出身）の四人です。いま、彼女達は日本の現場で活躍しております。この中から、はじめ王さんに声をかけ、快諾をえてほっとしました。ところが同誌から再度の依頼があり、もう一人寄稿者がほしいとのことでした。ほかの大学にも呼びかけたそうなのですが、日本で免許をとり日本の現場で活躍している外国人ナースは、なかなか見つからないようです。そこでこんどは、中国に帰省するという劉さんを、あわやのタイミングでつかまえ、たつてのお願いをし、原稿を書いてもらうことにしました。

そんなわけで、二〇〇三年の「看護」新春号には、わが大学の卒業生二人の論考が堂々と登場します。言ってみれば、本邦初公開！彼女たちの目が日本の看護現場をどのように見ているのか、どうぞこの新春号にご期待ください。そして、日本の看護を支えてくれている彼女たちに熱いエールを送ってください。（齋藤恵子）

理学療法学科

冬・口頭試験行脚の季節

この時期理学療法学科は、二・三年生にとって大変過酷な実技・口頭試験の季節であります。毎週各科目の会場へと渡り歩くわけですが、多くの課題について試される、ハードな季節です。

全日程終了後、三年生は休むことなく二十四時間バレーボールなる奇抜な催し物を行いました。創立以来二十四時間「走ったり、飲んだり」と、肉体

を追い込む衝動に駆られる学生が多いようです。一方四年生は、国家試験に向けてラストスパートです。PTとして出発できるか否か勝負の時です。神頼みの前に、今一度精一杯努力し、来年度の本当の年明けを全員で迎えたいものです。（中口和彦）

作業療法学科

国家試験に向けて

ラストスパートです。

作業療法学科四年生は暮の十二月二十四日に総合実習セミナーを行い、大学における最後の授業を終了しました。毎年のことながら総合実習での濃密で、厳しい経験により一まわりも二まわりも大きく成長してきた学生を迎え頼もしくもあり、気がかりもありというセミナーでした。

これからは三月二日の国家試験に向けて最後の追い込みに入ります。就職の決まっていない人は就職試験も気にしながらのこととなり、寒さの一番厳しい時期に強い意志を持って毎日を過ごしてほしいと思います。

若さを過信せずに、規則正しい生活と食事による健康が土台であることを忘れずに！！（菅原洋子）

言語聴覚障害学科

言語聴覚障害学特論Ⅱ開講される

新カリキュラムの四年生を対象として、今年度より言語聴覚障害学特論Ⅰ、Ⅱが開講されました。特論Ⅰでは、四年間の学習のまとめや国家試験を念頭においた講義が行われ、四年生は最後の試験に向けて意気を高めました。特論Ⅱでは、地域や福祉施設におけるSTの役割や手話といった実践的な内

情報教育センター

文科省関係特別助成金によりVOD（ビデオ・オン・デマンド）システムを構築し、情報処理演習室とSL教室のパソコンで、システムに記録した映像が閲覧可能であることは先のIUHWで紹介致しました。

現在登録してある映像は、スカイパーフェクTV教材の疾病論Aの一部、語学教育センターのEnglish Speech Workshopなどです。スカイパーフェクTV教材を中心にして、順次登録を増やしております。教員研究室においても視聴が可能ですので、ご利用希望の方は情報教育センター権限まで申し出下さい。視聴できるクライアント数に制限があることから申し込み制とさせて頂きます。（樺沢一之）

基礎医学研究センター

動物慰霊祭

十二月十二日（木）の午後六時からF一〇一教室において、多数の教職員・学生・大学院生の参加の下、平成十四年度動物慰霊祭が執り行われました。

動物慰霊祭は、学生の実習や教員の研究などで使用し犠牲となった実験動物の霊を慰めるため、学生教育の一環も兼ねて行われています。医療従事者を目指す学生にとって生命の尊さを知れることは非常に重要なことであり、これは実験動物の命として例外ではありません。動物の命と引き替えに、講義では解らなかつた幾多のことを学ぶことが出来ます。この事を学生にしつかりと認識してもらいたいという意図もあります。例年、理学療法学科と作業療法学科の生理学実習が終わる十二月上

容の講義が行われ、新人STとして働き始める準備が次第にできてきているようです。四年間の総まとめ、来るべき就職への準備の時期を大切に過ごしましょう。（菅野倫子）

放射線・情報科学科

癌と闘うスマートマシン登場

昨年十月より国際医療福祉病院で新たな治療装置が稼動しました。

従来、放射線は「やけど」、「嘔吐」、「脱毛」と悪いイメージが定着していました。新装置では病巣に一致した線束を用いてこの副作用をなくしました。「切ったはった」は一切なしに数日の治療で九割近くの癌は制御されます。

本装置は全身の「癌の痛み」を取る治療にも有効です。「二日照射すれば半数で痛みがゼロになり九割で改善した」とBROからも報告されています。癌のあらゆるシーンで活躍できる装置が身近になったことは勇気づけられる話題です。（青木幸昌）

医療福祉学科

医療福祉学科「卒業論文報告会」が行われる！！

平成十四年十一月二十二日（金）の午前十時から午後十五時までの五時間にわたって実習報告会を行った。医療福祉学科では卒業論文は必修科目である。卒業論文はいわば四年間の学習の集大成である。学生は三年の後半より何をテーマにするかを考えはじめ、学生個々の問題意識のもとに五月初旬に「テーマ」決定をする。内容は社会福祉のあらゆる分野におよび研究方法も文

献研究・調査研究・臨床研究と実に様々である。

実習報告会では、卒業論文の要約をもとに一人十分で発表と質疑・応答を行う。学生は約半年にわたり取り組んできた卒論を簡潔にまとめ発表するわけだが、誇らしげに自信を持って成果を発表する学生、自信なげな学生、他の学生の発表を聴いて我を振り返っている学生と千差万別である。本年度報告会は第三回になるが、報告を聴いていると入学した頃の学生の姿を思い出し、毎年「よくぞここまで成長したな」と感じる。（山崎順子）

医療経営管理学科

「雪にも負けずに球技大会！」

十二月七日（土）に医療経営管理学科の球技大会が開催されました。途中で雪が降り出した悪天候にもかかわらず、百名を超える学生達が集まりました。

種目はバレーボール、ドッジボール、バスケットボール、サッカーで、勝ち抜き戦でした。それぞれの優勝チームとブービー（最下位から二番目）に商品が与えられましたが、商品が何であつたかは、参加者のみ知る特権としておきます。

企画及び参加された学生の皆さん、そして御支援を賜りました教官の方々に御礼申し上げます。このような学年の隔てなく交流できる機会を今後大切にしていきたいと思っています。（小出大介）

言語聴覚センター

オープンから六年

言語聴覚センターは九十七年三月に開設して以来、早いものでもう六年に

部会・委員会報告

紀要委員会

第八回及び第九回紀要委員会をそれぞれ十一月二十日（水）及び十二月十八日（水）に開催いたしました。前号で取り上げたことですが、紀要発行に向けて論文投稿の希望調査を再実施しましたところ、多数の追加応募がありました。ご協力有難うございます。

この再募集の所為であろうかと思いますが、例年になく非常勤講師の先生方から紀要への投稿の可否について問い合わせが相次ぎました。誠に申し訳ないのですが、本学の紀要は非常勤講師の先生方の論文投稿を受け付けておりません。紀要が本学の教職員による研究成果を発表するために刊行するものであるため、投稿資格を本学の教職員に限定しております。ご諒解いただきますようお願いいたします。（野原功全）

新カリキュラムのスタートに向けて
新カリキュラムのおもな変更点は四
十六号でお知らせしましたが、新しい
時間割の作成もほぼ完了し平成十五
年度からスタートします。
三月末には共通科目、各学科の専門
科目の授業計画（シラバス）を完成さ
せ、大学のホームページに載せるほ
か、四月のオリエンテーションでは一
年生全員（学科ごと）に配布する予定
です。
また、衛星放送授業については一月
第一週に行うアンケートの結果を参考
にして、さらなる改善に取り組みつも
りであります。（飯沼一浩）

就職委員会

平成十四年度も終盤を迎えていま
す。四年生の採用内定者は「就職内定・
進学決定届」「就職・進学試験報告書」
を学生課に提出してください。また未
定者は各学科の先生の助言や各学科並
びに就職情報コーナーにある求人情報
を最大限に活用して、内定を獲得して
ください。努力を重ねればきっと結果
が得られると思います。
また三年生で企業への就職希望者に
は会社説明会等が始まりますので、学
業に支障のないように注意して、積極
的に活動を進めてください。なお四月
（六月）には「就職試験（公務員等も含
む）対策講座」を開講します。この講座
は公務員試験だけでなく、一般的に採
用試験の筆記試験対策にもなります。
是非受講することをお勧めします。
申込期間等のご案内は一月末に揭示し
ますので揭示に注意してください。（丸山仁司）

昨年の十一月に情報化委員会が開催
された。
二〇〇三年二月末の東京事務所移転
（港区 乃木坂）に伴い、情報ネット
ワークの張替えが行なわれる。その概
要につき報告すると共に、遠隔講義シ
ステムの移転及び拡充（福岡の発信対
応と熱海教室の新設）についても、原
案が報告された。
共に将来のブロードバンド化を見据
えた増強を行なうこととし、意見交換
を行なった。
また、各学科の研究用の情報システ
ムの整備状況を発表し、学科横断的に
情報共有の促進を図った。
さらに、国際医療福祉病院の電子カ
ルテシステム導入（厚生労働省補正）
の状況についての報告が行なわれた。
情報化委員会は、栃木ブロックの大
学だけでなく、附属熱海病院や国際医
療福祉病院など、関連施設のメンバ
ーを加え、グループ全体の課題を検討す
る事とした。（阿曾沼元博）

図書委員会

図書館は、大学の創立以来、学生、職
員に対し、教育・研究の場を提供する
ばかりでなく、地域の人々にも開放さ
れて大学と地域の交流にも貢献してき
た。しかし、創立以来、大学院の充実、
医療福祉学科の増員、視機能療法学科
の創設などにより、学生数は急速に増
加し現在の施設では十分機能しなくな
る恐れがでてきた。
また、大学院が充実することに伴っ
て、大学のキャンパスも、東京、福岡、
柳川へと地域的な広がりを見ることが
なり、更に、本学の関連施設である国

際医療福祉病院の整備、附属熱海病院
の開院に伴って、これらの施設の図書
室（館）との連携という新たな課題も
出現した。
このため、平成十四年度末の図書委
員会は、これらのキャンパスを包含す
るような新たな組織が必要であると考
え、国際医療福祉大学図書館協議会の
設立を提案した。また、これを含め図
書収集のあり方、スペースの問題など
を論じた図書館の現状と問題点を作成
中であり、その原案は、一月十五日現
在各科図書委員を介して全教員にも意
見を求めるために配布された。
一月の委員会での原案を図書委員
会として議論し、しかるべき大学の管
理運営機構に提案する予定である。（開原成久）

国際部・国際交流委員会

千保市長、大田原国際交流会の鈴木
会長、山田副会長、本学学長のご参加
を得て、「国際交流親善パティール」が
十二月十一日に開催されました。
このパティールは本学の海外留学
生、海外研修・活動に参加した学生、ホ
ストファミリー、国際交流活動に従事
した本学教職員が一堂に会し親善を深
めるとともに、今年の国際活動について振
りを返し、来年の活動について考えるこ
とを目的として毎年開催されており、
今回で六回目になりました。
参加者一同（約八十名）は、留学生と
海外研修・活動参加学生の皆さんによ
る素人とは思えない国際色豊かな余興
やゲームを楽しみ、親善を深めました。
（梅内拓生・細井良三）

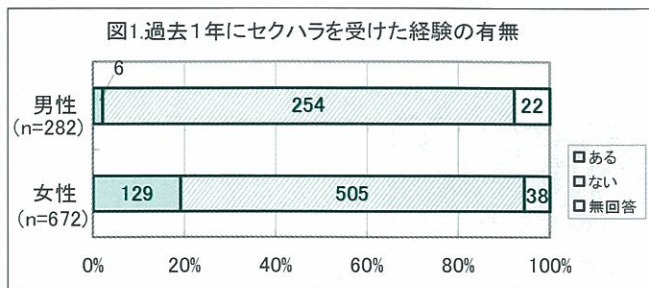
セクハラ経験は“アルバイト中”が最多

ーセクハラ防止委員会より：7月の全学アンケートの結果がまとまりましたー

去る7月に実施したセクシュアル・ハラスメントに関
する意識・実態調査の結果がまとまりました。ここにほ
んの一部を掲載します。対象は2年次以上の学生（院生
を含む）と教職員の全員でしたが、回収率は学生が37.5
%（男性27.7、女性44.1%）、教職員が68.5%（男性
63.8、女性75.0%）でした。

学生の回答者総数954名のうち、過去1年の間にセク
ハラを受けた経験が「ある」と答えたのは135名（男性
6、女性129名）でした（図1）。男性6名は回答者282
名の2.1%に、女性129名は回答者672名の19.2%にあ
たります。内容として多くあがったのは、「むりやりキ
スをされたり身体にさわられた」、「性体験や性関係に関
することを話題にされた」、「年齢・容姿・服装などを話
題にされた」で、いずれも該当回答者の約40%がこれを
あげていました（複数回答）。少数ながら、きわめて深刻
と思われるケースもありました。

セクハラを受けた状況として圧倒的に多いのは「アル
バイト中」で、セクハラ経験ありと答えた者の64.4%が
回答肢の中からこれを選んでいきます（複数回答、図2）。



「講義中・実験中・演習中」13.3%、「学外実習中」の10.4
%がこれに次いでいました。セクハラの手（加害者）
についても、「アルバイト先の関係者」をあげた者が
49.6%と最も多く、「同級生」16.3%、「上級生や先輩」
14.8%、「学外実習先関係者」8.1%がこれに次いでいま
す（複数回答）。少数ですが教員も挙がっていました。

セクハラへの対応は、「笑ってはぐらかした」48.1%、
「嫌だとはっきり意思表示した」29.6%、「我慢した」
20.7%などとなっています（複数回答）。セクハラ経験
を「誰かに相談した」は45.2%。「相談し
なかった」人たちの理由は、必要性を感じ
なかった、相談しても解決すると思えない、
真剣に相談にのってくれないのでは
なかった、などです。

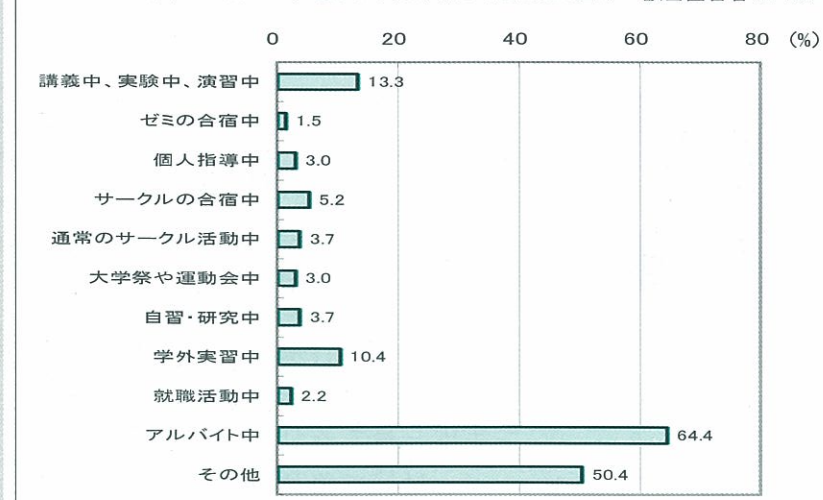
自由記載欄には、自分自身の経験や伝
聞情報をふくめ、この問題に真摯に取り
組むべきだとの意見が寄せられました。

この他の詳しい結果は、本委員会発行の
「セクシュアル・ハラスメントに関するア
ンケート調査報告書」をご覧ください。平成
15年1月頃から本学図書館で閲覧でき
るようになります。

なお、セクハラ防止委員会は、この調査
の結果をもとに今後の防止対策を考えて
いく予定です。

（委員長：鎌倉矩子）

図2. セクハラを受けた状況（複数回答） 該当回答者：n=135



I UHWクイズ～第35弾 当選者発表

前回の問題と解答は下記の通りです。

正解者の中から見事当選を果たしたのは、医療経営管理学科2年の坂本渉子さんです。

おめでとうございます。

学生証持参の上、L棟学生課窓口までお越し下さい。

- 1 That guy drinks like a ().
- 2 When she saw the robber, she was as brave as a ().
- 3 The boy said, I' ll be quiet as a ().
- 4 My best friend is as loyal as a ().
- 5 He eats like a ().

(dog, mouse, lion, fish, horse)

解答

1,fish 2,lion 3,mouse 4,dog 5,horse

編集後記

I UHW 48号をお送りします。新年号は、本学グループ内のさまざまな先生方からご挨拶を頂きました。
学長および大学院長のご挨拶をはじめ、今回は特に学内実習施設の病院長やセンター長からも原稿を寄せて
頂き、学生の皆さんにメッセージを送っていただきました。巻頭を飾った新春特別対談には、これら実習施
設のほかにも本学関連施設の新しい試みについて言及があります。

また、毎年恒例となっている『イングリッシュ・スピーチコンテスト』の様子もお伝えすることが出来ま
した。入賞者の声からは、入賞の瞬間、発表当日に至るまでの葛藤、そして自分を支えてくれた方々への感
謝の気持ちなどさまざまな感情がこちらにも伝わってきます。

今後も広報誌 I UHWは、ますます発展の一途をたどる国際医療福祉大学の現場の生の声を学生の皆さん
にお届けしたいと思っています。(磯・佐藤)

イングリッシュ スピーチコンテスト

第七回学長杯英語スピーチコンテスト開催、優勝は理学療法学科の今井祐子さん

十二月十日午後六時から、谷学長を迎えて恒例の English Speech Contest が開催されました。今回初めて会場をF-101に移し、演壇に上がるとライトがあたるという晴れがましい状況の中での演説になりました。それぞれが自分なりのメッセージを込めて、偉大な先人の言葉を伝えました。本物よりもっと若々しい凛々しい大統領が登場したり、優しい声で切々と訴えるキング牧師がいたり、エイズと共に力強く生きることを伝える頼もしいフィッシャー女史もいました。これほどまでに、個性を輝かせ、聴衆を惹きつけるすべてを、このプログラムをとおして身につけた二十五名の出場者全員に、惜しみない拍手がおくられました。司会進行は昨年に引き続き、医療福祉学科三年の栃村浩史さんで、「昨年よりはいいMCを」というプレッシャーもかなりのその、全体の空気を和ませ、聴衆と出場者をひとつに包み込む、堂々としたMCでした。ゲスト審査員は梅内先生と中西先生にお願いました。大変楽しかった様子でした。一位は今井祐子さん(理学)、二位は志村圭太さん(理学)、三位は堀木恵美子さん(医療経営)でした。三人とも、卓越した演説を披露してくれましたが、どれほどの練習を重ね、幾度自分の解釈力を問うたことかと、頭が下がる思いでした。コンテスト後の会食では、学長の英語のスピーチに感銘を受けた学生たちが、学長にその思いを伝えるひとコマもあり、このコンテスト出場経験が大切な財産となったようでした。(南井紀子)



今井祐子さん
(理学)

今回一位になったということは、私にとって「幸せです」というのが率直な感想です。「幸せ」と思っただけでは、先生方が熱心に指導してくださったこと、私の持っている力を全て注ぐことが出来たこと、多くの人のスピーチを聞くことが出来たこと、そしてコンテストに出場すること、その全てでくれる人たちに恵まれたこと、その全てが「幸せ」という言葉に詰まっています。振り返ってみるとコンテストの本番当日までは、決して満足な練習が出来たとは言えなかったと思います。そして、ケネディー大統領演説という課題について、私ならこの演説をどのように表現するかを考えると、いつも難しさを感じていました。そのような状況で、ケネディー大統領演説の内容を自分の声を通して聞いてくれている人たちに自分の思いを伝えるように表現してみよう。私自身が作った文章ではなかったとしても、自分自身の表現で人の心を動かせたいと思いつつ、スピーチの発表をしていました。

最後に、発表を聞いてくださった方々や応援してくださった方の気持ちにスピーチのパワーになった結果として得られた賞だと思っています。本当にありがとうございました。

「えっ！私？すみません！これが、自分の名前が呼ばれたときの率直な思いです。私は久しぶり英語とはかけ離れた生活を送っていたので、HMのクラス代表に選ばれただけでも夢のような出来事でした。英語が特に苦手な私には、キング牧師のスピーチ原稿から訳、その言葉からキング牧師の思いを理解することは大変困難な作業でした。更に言葉に思いを載せて伝えるのに必要な正しい発音やプレゼンテーションの仕方は、ビデオや音め上手な先生方の指導が無ければどこにもないものとなり、この入賞は有り得なかったと思います。

『英語が不得意な私がクラス代表なのだから、練習量が劣っているのはクラスの皆に申し訳ない。只々練習あるのみ！』そんな思いで練習をしていると、言葉が広がりをもち心に響くようになり、練習自体をとても楽しむことが出来ました。その上、三位入賞と副賞の医学大辞典までいただき、本当にありがとうございました。



堀木恵美子さん
(医療経営管理)

Thanks a million!



志村圭太さん
(理学)

Thanks a million! 子供の頃から発音でも特に成績が良かった。得意だった私の英語。わけでもなく、基本的に英語の授業は嫌いでなく、このような名誉ある賞をいただけるだけでも驚いています。実際、口頭試問の真つ只中でよく練習もできず、いきあたりばったりで迎えた本番はヒヤヒヤしながらしゃべっていました。さて、このコンテストは自分自身にとってどんなものだったのか。人前でスピーチすることに関しては良い経験になったし、準優勝という結果は自分にとって大きな自信となりました。でも一番心に残ったのはたくさんの友人、知人が応援に来てくれたことです。精一杯力を出し切った入賞することができたのは彼らのおかげだと言っても過言ではありませ

ん。両親、ケルソー先生、口頭試問の前日にみんな、PT一年の野村、バスケット部のプレイヤードに、マネージャー達、そして審査員の方々、本校英語科の先生方、最後に、最前列に座って応援してくれたTEAM河野(ヒロエ、オッシー、コジ、日出夫、コニー、小久保)、心から感謝しています。本当にありがとうございました。

「えっ！私？すみません！これが、自分の名前が呼ばれたときの率直な思いです。私は久しぶり英語とはかけ離れた生活を送っていたので、HMのクラス代表に選ばれただけでも夢のような出来事でした。英語が特に苦手な私には、キング牧師のスピーチ原稿から訳、その言葉からキング牧師の思いを理解することは大変困難な作業でした。更に言葉に思いを載せて伝えるのに必要な正しい発音やプレゼンテーションの仕方は、ビデオや音め上手な先生方の指導が無ければどこにもないものとなり、この入賞は有り得なかったと思います。

『英語が不得意な私がクラス代表なのだから、練習量が劣っているのはクラスの皆に申し訳ない。只々練習あるのみ！』そんな思いで練習をしていると、言葉が広がりをもち心に響くようになり、練習自体をとても楽しむことが出来ました。その上、三位入賞と副賞の医学大辞典までいただき、本当にありがとうございました。

I UHWクイズ～第36弾

つぎのことばの()内にあてはまる数字を重複しないように下から選んでください。学生の皆さん、がんばって調べてみてくださいね！抽選で1名の方に旅行ギフト券をプレゼントします。解答を記入の上、管理棟事務局窓口外側にあるメールボックスに投函してください。締め切りは2月21日(金)までです。お早めに！！

- 1、人の噂も()日
 - 2、()頭地を抜く
 - 3、韋編()たび絶つ
 - 4、一瀉()里
 - 5、一を賞して()を勧め、一を罰して衆を懲らす
- 選択肢
(一、三、七十五、百、千)



解答用紙
学籍番号
名前
解答

- | | |
|----|----|
| 1、 | 2、 |
| 3、 | 4、 |
| 5、 | |